

令和6年 明けましておめでとうございます。



酒井代表

「あなたは人生に運とい
うものがあると思いますか？
」と聞かれたら何と答えま
すか？

大晦日から元旦を迎える
だけで何となく新たな気持
ちになります。

今年も良い年であります
ようにと感謝と幸を願い、
初詣に行かれた方もいらっ
しゃると思います。

新年のあいさつは、また
また占い・運勢の話かとお
思の方もいらっしゃる
露伴昇る物語です。露伴は故
りの『努力論』を人生の指
出します。余談ですが、天
王寺にあつた五重塔を焼
失った十兵衛が再建す
る物語です。露伴は作家で
思想家幸かとお話しする
露伴は人生における成功
法則を発見します。露伴
は言います。

うまくいかないことは、
他人や世間のせいでしてい
れば気楽なものでです。でも
これでは失敗から学ぶこと
はない。露伴は言つて
いるのを指します。

もし、本年末に反省
する事ばかりだったと
しても、後には大きな
成功があるのだと露伴
の言葉を信じましょう。

分社グループ会報

第71号

分社 *Bunsha*

2024年(令和6年)
1月17日 水曜日発行

《発行元》
分社理念研究所 事務局
〒141-0031
東京都品川区西五反田8丁目
11番21号五反田TRビル3階
TEL 03-5496-1810
FAX 03-5496-1881

と思いますが、運を信じる
者、信じない者、どちら様
も、たとえご用とお急ぎで
あつたとしても幸運をつか
む方法といふラッキーなお
話なのでご一読願えればと
思います。

「大きな成功を遂げた人は、
失敗を人のせいにするのでは
なく自分のせいにすると
いう傾向が強い」と人間観
察をしています。

露伴は、運命を引き寄せ
る二本の紐に譬えて述べて
います。一本はザラザラゴ
ツゴツした針金のような紐
で、それを引くと掌は切れ、
指は傷つき、血が滲みます。
それでも引き続けると、大き
な運がやってきます。

店長に、「実家はたしか上
かけたところ、「谷中です」
と、手触りが絹のように心
地いい紐を引っ張つていて
幸運不運は偶然のものでは
なく、自分の生きる姿勢
で、それを引き続けると、大き
な運がやってきます。

露伴の「失敗をした
とき寄せる」というもので、かなり
の確率で良い結果を引
き寄せることがあります。
それが前進であり向上
と、引き寄せられてくるの
は不運であるというのです。
幸運不運は偶然のものでは
なく、自分の生きる姿勢
であります。

「雨が降つても自分の
せい」と松下幸之助に
教わったという経営コ
ンサルタントの宣伝文
句がありました。

「ウーム」。

失敗や不運の原因を
自分に引き寄せて捉え
る人は辛い思いをしま
すが、同時に「あれは、
こうすればよかつた」と
いう反省の思慮を持
つこともあります。それが前進であり向上
と、引き寄せることにつなが
ると言っています。

露伴の「失敗をした
とき必ず自分のせいにせ
よ」を積み重ね、今年
の運気向上を活かし一
年を無事に過ごしまし
よう。

この度の能登半島地震により被災されました皆様に、心よりお見舞い申し上げます。
また、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。
被災地域の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

年頭に当たり、グループの皆さまから以下のテーマに
ご寄稿いただきました。

- ・新年に挑戦してみたいこと
- ・新年はこんな世の中になつて欲しい
- ・将来に向けたさらなる一歩



『将来に向けたさらなる一歩』



インテグラン株式会社
岩手工場工場代理兼
岩手工場管理課課長 佐藤 浩

人を動かす、組織を動かす立場として私なりにいつも心掛けていることがあります。それは「正面の理 横面の情 傷面の恐怖」です。これは人を動かす3要素とも言われ、弁護士の中坊公平先生のお言葉です。社会人生活動も30年を超えておりますが、こんなにもきちんと週休二日制をとれる会社勤めは初めてです。そこで思ひ出したのが週休二日制を日本の企業で最初に導入した松下幸之助さんの、「一日休養、一日教養」というお言葉です。自分自身の教養をさらに高め、本來理想とする「正面の理」で動いていくために、たくさんの人材を一人でも多く育ててくださいと思います。人財育成こそが将来に向けた一歩と考えます。



大陽工業株式会社
MDモールドカンパニー
営業部
チーフマネージャー
佐藤 浩

今年は辰年と言う事で過去の辰年にはどんな事があつたのか少し調べてみたところ、東京スカイツリー開業（2012年）、2000円札発行（2000年）、青函トンネル・瀬戸大橋開業（1988年）、東京五輪（初回）・東海道新幹線開業（1964年）など国家プロジェクトが始動することの多い年であることが特徴だとわかりました。

2020年から約3年間続いていたコロナ禍も5類へ移行し、規制や自粛で一変していった生活や仕事のスタイルでの環境においては、以前はあたり前であつたお客様への訪問や打ち合わせ、クレームの呼び出しなど良いことも悪いこともお客様と直接対面して生の声を聞ける喜びを感じております。今年は龍の如く躍動し成果あふれる一年にするために新分野へ挑戦して行きたいと思います。今年も宜しくお願ひ申し上げます。

『将来に向けたさらなる一歩』

新年あけましておめでとうございます。

2023年はコロナも5類へと移行し、制限のない状況が少しずつ戻つてきました。

仕事ではお客様へ訪問する機会も増え、海外への出張者も多くなりました。そのような状況になりつつも、世界では争いの犠牲になつている人々の報道が多く流れています。

私たちの安全な暮らしも何時どのような方向に進むかはわかりませんが、2024年は、この争いが少しでもなくなることを強く望みます。また、技術の進化は、皆が安心して生活を送るためにあつてほしいと考えます。

自分たちが携わった製品、技術が世界中で使われ、安心して生活できるサポートの一つになればと思っています。今一度、大昌電子の社員として技術の進化に貢献するとともに、人とのつながりも大事にしていく所存です。本年も何卒よろしくお願ひいたします。



株式会社 大昌電子
栃木第二工場
基板実装部 基板実装課
課長 稲葉 裕之

新年明けましておめでとうございます

2023年は、長い間苦しめられてきた新型コロナウイルスが五類に移行され、日常生活は元の様子に戻りますが、私自身の行動を振り返るといまだ心の何処かでコロナ禍を理由に、行動に制限をかけてしまったように思います。

2024年は辰年、成長と変化の年と言われています。成長する為には、何事にも常に挑戦する気持ちを抱き、結果を得る為に試行錯誤を重ね、年末には「色々なことにトライした充実しました年だった」と思えるよう取り組んでまいります。



株式会社幸大ハイテック
生産本部
部長代理 桜井高一

新年明けましておめでとうございます。
さて、私は趣味でグライダーに乗り空を飛んでいます。
新年に挑戦してみたいことは、“ようくまで飛ぶ”を目標に、第一ステ



富士精密株式会社
技術部 課長 菊地宏幸

(中央のコクピットに座っているのが私です。)

ツブとして50km離れた場所まで飛行したいと思います。
通常10km程度の飛行ですのでかなりのチャレンジになりますが、上級者になると100km～200kmの飛行もあります。
グライダーにはエンジンは付いていません。上昇気流を利用して高度を獲得し、その高度を利用して遠くに行きます。
普段は飛行場に戻る距離を考慮してあまり遠くには行きませんが、50kmとなると長距離になり戻れなくなる可能性が出てきます。その場合は近くの河原などに降りるしかありませんが、どこにでも降りられるというわけではありませんので事前の下見や確認なども必要になります。
途中で着陸できそうな場所の確認等、しっかりと準備を整えて挑戦致します。仕事も趣味も上昇気流に乗つて高みを目指したいと思います。

新年あけましておめでとうございます。

新年明けましておめでとうございます。

新年明けましておめでとうございます。



株ニューシステムズテクノロジー
SE営業部
マーケティングマネージャー
武石 真一



株式会社 マグトロニクス
EMS事業本部
神奈川第2工場製造部線切課
本村大地



株式会社サテリット
営業部 白鳥 葉
(向かって左側)

今年は新型コロナも2類から5類への見直しがあり、活動範囲の制限がなくなつたことで、経済へ良い影響が出てきております。IT業界では、新型コロナの影響により働き方が大きく変化し、在宅勤務が中心となつております。

大手のIT会社では、オフィスをフリーアドレスにしたり、コミュニケーションもWeb会議へと変化していま

す。これから働き方についても現在の環境に合つた働き方に変化していくよ

うと思われます。

2024年も働き方が大きく変化していく年となる言われておりますので、変化についていけるよう頑張つて参ります。

皆様にとって良い一年となりますよ

う心よりお祈り申し上げます。

私のテーマは「新年に挑戦してみたいこと」です。

挑戦してみたいことは、「学んだことを活かし自分で考えて行動をする」です。

昨年は、指示されたことをやるので手一杯の場面が多く大変でアドバイスもたくさん貰いました。

製造支援では普段行わない業務を取り組んだので学ぶことが多い印象でした。

今年はアドバイスや学んだこと活かして作業スピードを上げたり、ミスを無くせるように自分で考え工夫しながら業務に取り組みたいです。

また、昨年に中型自動二輪の免許を取得したので休日にはいろんな名所を巡つたりしてドライブを楽しみたいと思ひます。

最後になりますが、皆様にとって素敵な一年となりますように心よりお祈り申し上げます。

新年の挑戦ということで、今年は運動習慣をつける年にしようと思います。昨年の冬に風邪をひいてしまったのですが、想像していたよりも体調不良が長引き、体力が落ちているのを実感しました。

事務の仕事をするようになつてからは特に体を動かさなくなつたので、今年は健康のためにも体を動かすようになります、まずは日常でできる範囲から意識していこうと思います。たとえば通勤の駅で階段を使う、電車で立つているようにする、などできることは色々あります。また、リフレッシュも兼ねてウォーキングや室内でのストレッチ等も楽しんで続けていきたいです。

心身共に健康に、仕事も頑張れる年にしていこうと思います。

明けましておめでとうございます。

今年の世の中は、どうなつて行くのだろうか？コロナウイルスの影響で、多くの人が不安やストレスを感じている。一方、ワクチンや治療法の開発が進み感染者や死者の数が減つてきている。また、オンラインやモートワーカーの普及で働き方や生活様式が変わつてきている。今年は、これらの変化に対応しながら、新しい希望や可能性を見つけて、いけると（いいな）と思う。



セブンヒルズ株式会社
羽生事業所
係長 柳田良二

新年あけましておめでとうございます。
新年を迎えて、コロナという試練に立ち向かった経験を胸に、より良い未来への一步を踏み出していくましよう。弊社においては、お客様との対面による打ち合せも緩和され、以前のよ

うにとまでは言えませんが、ようやく営業再開という状況です。しかしながら、電子部品の入手難については、なかなか改善されておらず、いまなお納期確保に対し七転八倒の毎日です。「辰年は龍の年、龍は力強く、そして知恵も備えた存在」と言われております。変化を受け入れ、柔軟に対応したい向向きな気持ちで、何事も取り組んでいきたいと思います。



大金電子工業株式会社
営業本部
部長 八鍬 浩

新年明けましておめでとうございます。
私が四月に入社してから九ヶ月が過ぎ、あつという間の二〇二三年でした。入社後は日々学びと失敗の繰り返しで、諸先輩方の熱心な指導の下、実りある毎日を過ごしています。少しづつ仕事にも慣れて参りましたが、何事も慣れた頃が一番危ないと言われているので、より一層気を引き締めて仕事に励む所存です。

私が二〇二四年に挑戦したいことは、他部署とのコミュニケーション強化です。辰年は「古い殻を破つて新たな芽を伸ばす年」との意で、私も自分の殻を



株式会社ダイチュー
テクノロジーズ
開発技術部 竹田 大志朗

破り、新たな一步を踏み出そうと思います。昨年は新入社員であることや、素の性格から、部署外の社員とのコミュニケーション不足が顕著でした。その為、他部署の組立の進捗状況が把握出来ず、仕事の出戻りが発生したり、問題部品の改善に遅れが生じるなど支障をきたしました。そんな時、他部署と連携した円滑に仕事を進める先輩方を見て、他部署との意疎通や、業務を把握する事が重要性を認識させられました。その為、今年は自身が設計した部品の組立や取り付け方法を説明する機会や、私は「辰」と一緒にお酒が大好きなので飲み会等を活用し、所属部署は勿論、他の部署とのコミュニケーションを積極的に実施します。

分社グループの沿革とブランド戦略

分社グループ代表 酒井陽太



酒井式煙草細刻機

（株）ダイチュー・テクノロジーズには分社グループが創業の時に手掛けた製品の実物が集められ、陳列されています。

明治時代の煙草刻み機、戦前の昭和時代の軍艦に搭

人には経歴があるように、事業にも創業の経緯やその後の歴史というものがあります。

分社グループの歴史については、すでに酒井邦恭（1928～2009）が『機械装置師（からくりし）の末裔』に詳しく著しました。

（株）ダイチュー・テクノロジーズは旧社名を㈱大忠電子（株）と改めました。これは大陽工業（株）グループの中心という意味で酒井邦恭によつて名づけられたものです。

載された小型工作機械数種、戦後の煙草自動搬送車などが並んでいます。

（株）ダイチュー・テクノロジーズは旧社名を㈱大忠電子（株）と改めました。これは大陽工業（株）グループの中心とい

う意味で酒井邦恭によつて名づけられたものです。

10年、50年といった周年記念に社史を作る会社は多いと思います。コラムニストの山本夏彦（故人）は「社員も読まない社史」という言葉を残しています。

風に書かれており興味を誘う工夫がされています。

会社の歴史ばかりか日本の歴史ですら学校でろくに学んだこともないので、海外留学した若者は日本のことを色々と聞かれ答えられずに帰ってきます。会社ばかりか日本の歴史も知らないのが私たちと言えます。

世界を席巻する有名ブランドの品々を何ヶ月も待つて求める人もいれば、近くのお店の物でもよいという人、買い手は色々ですが、どちらのお店の利益率が高いかというと、それはブランドを持つお店です。

今を生きる者にとって、昔のこととはあまり関心がないというえに、大概がぶ厚い本で、おまけに編年体で書かれるため面白くないの読みません。

その点、『機械装置師（からくりし）の末裔』は物語

「ヒストリカル・ブランドティング」という言葉があります。この言葉は観光地の宣伝に使われており、例えば三内丸山遺跡や吉野ヶ里遺跡のようにその地方にしかない歴史的なものをブランドとしてとらえることを言います。

「当社の製品は他社にはないものですよ！」とお客様に訴え、納得してもらつて商品、製品を買ってもらつたり、仕事をいたたくのは販売戦略の武器の一つです。

もし、どこにでもあるもの、同じような仕事の仕方では、お客様はただ高い安いだけを選ぶことになります。

創業からの歴史はその会社の特徴であり、他社には

海外から的人が渋谷のスクランブル交差点をわざわざ見に来て驚きの声を上げるのは、あの沢山の人が整然と交差点をぶつかることがあります。この言葉は観光地の宣伝に使われており、例えれば三内丸山遺跡や吉野ヶ里遺跡のようにその地方になく渡る様子が世界広じといえども日本だけにしか見られない光景だからです。

私たちには普通のことでも他にないことは日本の特徴としてブランド化できる項目です。富士山も北斎も奈良や京都の世界遺産と同じです。

ヒストリカル・ブランドティングは会社の歴史だつて特徴があればその会社のブランドになり得るという事です。

ないものであり、創業の志とその後の歴史から生まれた社風とか社柄というのは富士山や北斎や奈良・京都や渋谷のスクランブル交差点と同じように相手に訴えるブランドになり得ると考

えます。

というわけで㈱ダイチュー
ーテクノロジー一階に飾
られている製品は分社グル
ープのブランドと言うべき
ものと思っています。
その品々をご紹介します。



●工作機械

展示品は、軍艦の各機器や船体の補修用に搭載するため小型に製造された旋盤、フライス盤等の同形機。(大陽工業株の前身である酒井精機製作所がこれらの製造に携わっていた。)

さて、㈱ダイチュー
ーテクノロジーの話に戻します。

こうした各研究所に社員
を1～2年派遣し、社員の
日本IBM基礎研究所、
東芝総合研究所、リコー中
央研究所、日本テキサス・
インスツルメンツ、NTT
横須賀通信研究所、住友電
工研究所、富士写真フィル
ム足柄研究所、日本たばこ
産業王子研究所、など。

（株）大忠電子を創業した木
村澄夫氏は大陽工業からの
分社に当たり、真の物づく
りを目指そうとしました。
まず初めにしたことは人
材の育成でした。人材の育
成のため以下の各研究所な
どに社員を派遣して技術の
向上と仕事の獲得を目指し
ました。

かと言いますと、明治時代
に煙草刻み機械を発明した
酒井太郎吉の志を創業の精
神としたからです。

（株）大忠電子は大陽・分社
グループの中心という意味
で名づけられたと言いまし
た。中心とはどういう意味
か

かと言いますと、明治時代
に煙草刻み機械を発明した
酒井太郎吉の志を創業の精
神としたからです。

●定礎

（株）大忠電子が分社され、埼玉県羽生市に新工場を建設する時(昭和58年)、創業者社長であった木村澄夫氏が酒井オーナー(故酒井邦恭)に揮毫を依頼した。建築物の基礎として玄関の左側に設置されています。



●自走車

1台で4万本の煙草を無人制御にて運搬する自動搬送車(JM2)。



技術の向上を図り製品の共同開発を行う事を進めました。このことが今日の㈱ダイチューーテクノロジーに繋がっているのです。この歴史はどうでしょう？

ヒストリカルブランドイングと言えるのではないで
しょうか。

社長会・吉生会開催

〔社長会〕

令和5年12月21日(木)コートヤード・マリオット銀座東武ホテルにおいて社長会が開催されました。



社長会の様子

から月次業績推移等の報告がなされたのち、各社より、上期決算、下期修正計画、現在直面している課題などが発表されました。後に酒井代表より挨拶がなされ社長会は終了しました。

〔吉生会〕

（講演会・懇親会）



講師：大高先生

講演会はメディアで活躍中のジャーナリスト・大高未貴氏をお迎えし、「日本のメディアが伝えない国際情勢」と題しご講演頂きました。また懇親会は和やかで楽しい談笑のひとときとなりました。

分科会（板金・塗装部会）開催

令和5年11月21日(火)富士精密株式会社（栃木県・宇都宮市）に於いて分科会（板金・塗装部会）が開催されました。

はじめに座長の富士精密株式会社山田敏明社長より開催のご挨拶を頂き、続いて青柳光保専務より会社の概要・沿革等をご説明頂きました。

この日、グループ各社から34名が参加、複数の班に分かれて工場を見学しました。工場見学後の意見交換会では、参加者からの疑問や踏み込んだ質問に対し一つひとつ丁寧にご回答頂き、会社間の垣根を越え闊達な交流の機会となりました。



山田社長に聞く

■菅会長が10月にご逝去されました。思いをひとつこと

当社を基礎から作り上げて頂き、多方面から信頼頂いています。

「おう！どうだ？」…と、今でも電話が来そうで…

半世紀近く、本当に、お疲れさまでした。



■御社の自慢できる技術、設備をお聞かせ下さい

板金、塗装、組立を同工場内で完結できるのは大陽工業㈱を含めて数社に限られます。他社との差別化、及び客先からの信頼を得ている要因だと思います。

■今後の事業と将来のビジョンをお聞かせください

長年にわたり金融業界を中心に成長してきました。キャッシュレス化が成長する中での動向を見据えながら多方面への参入が急務となります。又、日本のお家芸であった製造業が軽視されてきてるような気がします。更に少子化等により人手不足が進行します。その中で“ものづくり”的魅力を発信し、人が集まる会社を目指します。

■分社グループに望むことは何がありますか？

久しぶりの分科会、当公社員も併せてそれなりの効果を得られた気がします。他業界、他社との交流を進めたいかがでしようか。